学校番号	1016

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新・高校生の美術　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・幅広い方向からモノ作りの面白さを知るため、表現ではデッサン、色彩、構成、材料や用具の生かし方などの技能を学習するとともに、意図に応じた多様な表現方法の工夫を学びます。
・鑑賞では、他者の作品を鑑賞し意見を交換することで、作者の心情や意図と表現の工夫を理解し、美術への関心を持てるようになりましょう。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
【知識及び技能】
創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練ることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	グレースケール	【絵画】 ワークシート 濃度の違いや表現の仕方を学ぶ。 制作 11個の四角を描き、11段階の明度の変化を描く。	a:鉛筆の扱い方、明るさの違いによる表現を理解できている。 b：正確に線を引くことができるとともに、微妙な明暗の変化を表現できる技術が養えた。 c:鉛筆の多様な表現に関心を持ち、鉛筆での制作に意欲を高めている。	ワークシート	制作途中の作品	作品
	立体構成(切断された立方体)	【立体】 アイデアスケッチ 制作したい形の展開図を描く。 制作 正立方体を斜めに切断した形を ケント紙で作り、断面部分は着色する。 立体の基礎、モノが建つ原理を理解する。	a:意図に応じて材料や用具の特徴を生かし、表現方法を工夫して主題を追及して表現していると同時に素材の特徴や立体作品の魅力を理解している。 b:立体の特徴を生かし、形体などを工夫して表現の構想を練っている。 a:立体の多様な表現に関心を持ち、立体作品の制作に意欲を高めている。	アイデアスケッチ	制作途中の作品	作品
2	立方体のデッサン(切断された立方体)	【絵画】 クロッキー 大まかな形を捉える練習。 制作 モチーフの捉え方や調子、陰影のつけ方を理解し、実践する。	a:微妙な明暗の変化や立体物の量感を表現できる技術が養えている。 b:モチーフを良く観察し、構想を練って制作できている。形の捉え方や鉛筆の扱い方、明暗による表現を理解できている。 c：鉛筆の多様な表現に関心を持ち、鉛筆での制作に意欲を高めている。	制作途中の作品	制作途中の作品	作品

	色彩基礎(明度と)彩度の色作り	【デザイン】 ワークシート 色彩基礎色を理解する。 制作 トーン表に従い、絵の具で同じ色を作り着色する。 教科書の色見本を再現し、着色する	a:色の三属性や混色の方法、絵の具の特徴を理解できている。 b:正確な色を作り、はみ出ず、ムラなく、塗ることができる。 c:絵の具の多様な表現に関心を持ち、絵の具での制作に意欲を高めている。	ワークシート	制作途中の作品	作品
	色面構成(調和と対比)	【デザイン】 ワークシート 画面区分による感じ方、伝わり方(構成)を学ぶ 制作 画面を決められた法則で分割しアクリルガッシュで着色する。 同一調和、類似調和、対比調和を活かし、効果的な画面に仕上げる。 １学期の色彩基礎を応用。	a:配色での立体的は見せ方や色遠近を理解できていると同時に想像力を働かせ、構成や配色に工夫ができている。 ｂ：明度、彩度を考えた色を作り、はみ出ず、ムラなく、塗ることができる。 ｃ：絵の具の多様な表現に関心を持ち、絵の具での制作に意欲を高めている。	ワークシート	制作途中の作品	作品
	合評	【鑑賞】 作品の講評を通して、自身の作品と他者の作品理解を深める。	a:作品から技術や技法を理解している。 b:思考力を働かせ作者の意図を感じ取れる。 ｃ：芸術作品に関心を持ち、理解しようとする姿勢がある。	レポート	鑑賞活動の様子	鑑賞活動の様子

3	立体造形(ピーマンを観察する)	【描写】 ピーマンを３方向からスケッチし、観察し特徴を捉える。 制作 スケッチをもとに紙粘土で成形し、乾燥後着色、水性ニスを塗り乾燥させる。	a:配色での立体的な魅せ方や、色彩と遠近の関係を表そうとしている。また、平面の情報を立体に起こす工程を理解できている。 b:ものづくりによる表現の多様性に触れ、立体表現の変容を知るとともに関心をもって取り組めている。 c:日常の観察から美しさの構造を見出そうとしている。	ワークシート	制作途中の作品	作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度